

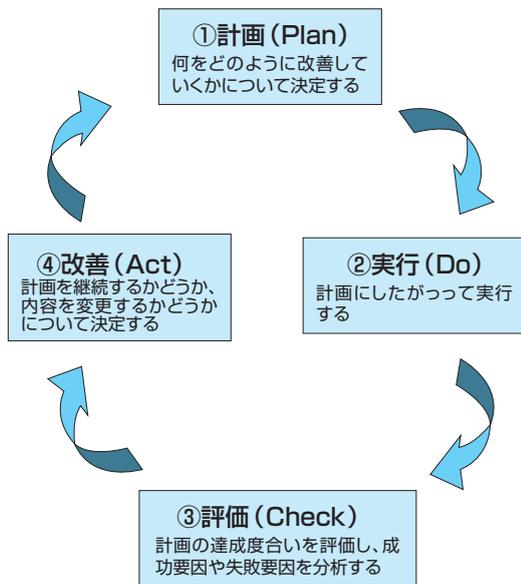


## Q 行政評価導入の効果は

西村 繁 議員  
(新志会)

## A 総合計画に成果を反映

マネジメントサイクル (PDCA) のイメージ図



### Q1

最近、行政評価への関心が高まっています。全国的に見ても半数以上の自治体で導入または検討が進められているとされ、自治体運営に大きな期待が寄せられています。

マネジメントサイクル (PDCA) の手法として、行政評価を導入することにより各自治体は行政経営を上げようと努力しています。そこで行政評価の考えを組み入れた行政執行について質問します。

① 行政施策の執行の基本的な考えは、行政組織の改革による行政施策執行の住民に対する効果については。

### A1

① 分権社会は地域住民が自立する社会であり、住民が自ら主体となつて地域の公共的課題を克服していく社会であると考えます。

これからは、限られた財源を最も効果的、効果的に使つて地域価値を高めていく、そのためには住民の皆様が主体となつて地域の公共的課題を発見し、その克服策を講じていく仕組みを早く構築する必要があります。各地域による自己完結型の地域自治が行われるような支援を早急に進めてまいります。

これからの課題を直視しますと、

これからの行政に求められるのは、自立する住民を支援していくための知識や技術を備えたプロ集団へと変革していくことであると認識しています。

② 現時点においては住民生活が向上したとか、色々なサービスのレベルが良くなったとかというような段階まで到達できているとは言えず、住民には歯がゆい思いを抱かせていることと思いますが、避けて通ることのできない近未来に向けた最も優先度の高い経営改革の仕組みづくりを行ってまいります。

第5次新総合計画は、これまでの改革の成果を反映させたものであり、住民の意思に基づく政策策定から評価、改善までが一貫したものとなります。これら一連の改革の成果は、これから実践する第2ステージで更に顕著な成果を示すものと期待しております。